

平成28年度事業報告書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1. 概況

平成28年度も、これまで通り公益財団法人上原美術館として各種公益目的事業活動の推進を基本に運営を行った。

上原近代美術館では、企画展『かたちの美—上原仏教美術館の名品とともに—』など、休館中の上原仏教美術館の収蔵品を合わせて展示する新たな試みを行った。また、海外の専門家を招いた講演会開催に加えて、研修会の開催等を実施した。

上原仏教美術館は、平成27年10月以降、リニューアル工事実施のため休館となっているが、講演会や研修会の開催、調査研究活動等は従来通り実施、南伊豆町の仏画調査報告書の作成頒布を行った。

両美術館とも一年を通じ、事業計画に基づいた運営管理、展示公開、調査研究、講演会・研修会開催等を着実に行うことができた。

2. 上原近代美術館及び上原仏教美術館の運営管理（定款第5条第1号）

— 平成28年度美術館入館者及び収入実績

公益財団法人 上原美術館			
入館者数	入館収入	図録等販売収入	収入合計
6,901名	432万円	68万円	500万円

〔内訳〕

上原近代美術館				
入館者数	入館収入	図録等販売収入	収入合計	開館日数
6,901名	432万円	61万円	493万円	361日(*1)
上原仏教美術館				
入館者数	入館収入	図録等販売収入	収入合計	開館日数
0名	0万円	7万円	7万円	0日(*2)

(*1) 展示替及び館内修繕工事を含め、4日間休館

(*2) リニューアル工事のため、平成27年10月以降休館

3. 美術品の展示及び公開（定款第5条第2号）

<上原近代美術館>

本年度の展示・公開事業は、収蔵作品を中心にテーマを持った企画展を年3回実施し、展示ケースによる美術関係資料の紹介など魅力ある展示に努めた。

(1) 企画展

かたちの美 —上原仏教美術館の名品とともに—	
開催期間	平成28年3月16日(水)～平成28年7月19日(火) [126日間] 出展作品数43点 入館者数2,395名
内 容	絵の中のかたち、彫刻のかたち、仏教のかたち。美しいかたちは、ジャンルを超えて見るものを魅了する。 本展ではリニューアル休館中の上原仏教美術館の名品とともに、近代美術と仏教美術にみるかたちの美を紹介した。
はじまりの絵画 —画家の新たなものがたり—	
開催期間	平成28年7月22日(金)～平成28年11月27日(日) [129日間] 出展作品数47点 入館者数2,443名
内 容	ゴッホは10年という短い画業のはじまりに、敬愛するミレーの版画を模写した。そこには、生命へのまなざしというゴッホ芸術全体に通じる本質が垣間見える。そのほか、シニャック、セザンヌ、安井曾太郎、須田国太郎らの青年時代や転換点の絵画から、その芸術の本質に迫った。
冬の情景、そして春へ —モネから横山大観まで—	
開催期間	平成28年11月30日(水)～平成29年4月2日(日) [124日間] 出展作品数35点 入館者数2,570名
内 容	木々は葉を落とし、雪が街を覆う冬。そして冷たい大地の下には、生命の芽吹く春が眠る。北欧の雪山を色彩でとらえたモネ《雪中の家とコルサース山》、冬の張り詰めた大気を薄墨であらわした横山大観《雪後》をはじめ、安井曾太郎、岡鹿之助らが描いた冬から春の情景を紹介した。

(2) 絵画教室生徒の作品展 (会場 当美術館会議室 ※入場無料)

教室名	開催期間 (開催日数)
デッサン・水彩画教室	3月17日～3月22日 [6日間] 出展作品数20点 入館者数235名
日本画教室	3月25日～3月30日 [6日間] 出展作品数18点 入館者数128名

(3) 館外出品 (下記展覧会に貸出)

国内で開催され注目を浴びた5展覧会へ収蔵品の貸出を行った。

展覧会名	「第22回 秘蔵の名品アートコレクション展」 於：ホテルオークラ東京
開催期間	7月27日(水)～8月18日(金) [23日間]
貸出作品	アルベール・マルケ《冬のパリ(ポン・ヌフ)》他 計2点
展覧会名	「ゴッホとゴーギャン」 於：東京都美術館
開催期間	10月8日(土)～12月18日(日) [72日間]
貸出作品	カミーユ・ピサロ《エラニーの牧場》 クロード・モネ《薫ぶき屋根の家》
展覧会名	「特別展 清方の美 季節の装い」 於：鎌倉市鏑木清方記念美術館
開催期間	10月22日(土)～11月27日(日) [37日間]
貸出作品	鏑木清方《恵方詣》、《木槿と町むすめ》
展覧会名	「拝啓 ルノワール先生 梅原龍三郎に息づく師の教え」 於：①三菱一号館美術館、②あべのハルカス美術館
開催期間	①10月19日(水)～1月9日(月) [83日間] ②1月24日(火)～3月26日(日) [62日間]
貸出作品	梅原龍三郎《パリー女》《モレー風景》 ピエール=オーギュスト・ルノワール《横になった婦人》 ※ ②には梅原龍三郎《モレー風景》のみ貸出
展覧会名	「マティスとルオー展—手紙が明かす二人の秘密—」 於：パナソニック汐留ミュージアム
開催期間	1月14日(土)～3月26日(日) [72日間]
貸出作品	アンリ・マティス《読書する女性》《赤い屋根のある風景》 その他、挿画本3冊

<上原仏教美術館>

平成28年度はリニューアル工事のため全日休館したが、上原近代美術館において、企画展「かたちの美—上原仏教美術館の名品とともに—」など、年3回開催の企画展に平安時代の十一面観音菩薩立像、鎌倉時代の阿弥陀如来立像、中国宋代の菩薩立像をはじめ、収蔵品12点を展示した。

また、下田市民文化会館において、研修会生徒の作品展を開催した。

研修会生徒の作品展

写経・仏像彫刻教室作品展 於：下田市民文化会館 ※入場無料	
開催期間	5月28日(土)～5月31日(火) [4日間] 出展作品数63点 入館者数259名

4. 美術品の収集、整理及び保管（定款第5条第3号）

<上原近代美術館>

(1) 美術品の収集

本年度は、14作品の寄贈を受けた。

寄贈作品	
ジャコモ・マンズー	ストリップティーズ
山本正道	ローマのアトリエ
	朝日連峰(山小屋) 2部作
	坐った形
	春'87
小さな胸像	
安井曾太郎	小高き丘
中川一政	向日葵
	柿とみかん
浜口陽三	パリの屋根
ピエール=オーギュスト・ルノワール	習作(水浴少女)
ベルナール・カトラン	ピンクのテーブルクロスの上のあじさい
秦慧玉	喫茶去
	一華開五葉

(2) 美術品の整理及び保管

温湿度や空気質、電力使用量のデータ収集分析等、館内の環境調査を継続して実施し、美術品保存環境の維持に努めた。また、I P M (総合的病害虫管理)の考え方に基づいた文化財害虫やカビの予防管理も行っている。

<上原仏教美術館>

(1) 美術品の収集

本年度、新たな作品の購入はない。

(2) 美術品の整理及び保管

本年度はリニューアル工事のため、仏像及び古写経等の収蔵品保管について、静岡県立美術館や伊東市文化財管理センターの一部を保管依頼し、その他の収蔵品は、上原近代美術館収蔵庫等にて厳密な温湿度管理の上保管している。

5. 美術品に関する調査研究及び研修会、講演会等の開催

(定款第5条第4号)

<上原近代美術館>

(1) 調査研究

本年度は、以下のテーマで収蔵品に関する調査研究を行った。

- ①土森智典主任学芸員「須田国太郎のスケッチブック2」
- ②齊藤陽介学芸員「2016年度 博物館実習」

(2) 研修会の開催

デッサン・水彩画教室		
講師	受講者	開催日時
小野 憲一氏	21名	毎月2回(年24回実施) 第2・4水曜日
日本画教室		
講師	受講者	開催日時
牧野 伸英氏	18名	毎月2回(年24回実施) 第2・4火曜日

(3) 講演会の開催

ゴッホの世界的な研究者シュラール・ファン・ヒューフテン氏を講師にお招きし、当館所蔵のゴッホ作品を中心に、ゴッホの芸術についてお話いただいた。

開催日 10月10日(月・祝)
会場 下田市民文化会館 大ホール
演題 「ゴッホ若き日のデッサン《鎌で刈る人》、
そして晩年の絵画へ」
講師 シュラール・ファン・ヒューフテン氏
(美術史家、元ファン・ゴッホ美術館コレクション部長)
聴講者 約420名

(4) レクチャー、ギャラリートーク開催

①ギャラリートーク(会場:上原近代美術館 講師:当館学芸員)
計12回開催 参加者計 199名

②ミニ講演会(会場:下田市民文化会館 講師:当館学芸員)

テーマ	開催日	参加人数
仏教のかたち、近代のかたち	5月15日	100名

(5) ワークショップ開催(講師:当館学芸員、当館絵画教室講師)

於:上原近代美術館

テーマ	開催日	参加人数
ティーチャーズ・デー ～先生のための鑑賞教育講座～	5月14日	12名
日本画を描いてみよう～水墨画編～ (小学生)	7月23日	9名
中高生のための鉛筆デッサン入門講座 ①2日間コース ②3日間コース	①8月12日、13日 ②8月15日～17日	①3名 ②9名
鉛筆デッサンにチャレンジ!(大人向け)	11月5、6日	10名
日本画体験教室	11月19日	21名

於:茅野っこひろば研修室(伊豆の国市野外活動センター)

テーマ	開催日	参加人数
岩絵の具でうちわに絵を描こう	8月2日	21名

<上原仏教美術館>

(1) 調査研究

以下の文化財調査（外部依頼調査）を実施した。

- ①南伊豆町妻良・良泉寺調査（11月6日）
- ②下田市落合・落合高根白山神社調査（11月24日）

(2) 研修会の開催

仏像彫刻教室		
講師〔仏像彫刻家〕	受講者	開催日時
岩松 拾文氏 大谷 文進氏	41名	毎月1回（年12回実施） 第3日曜日
写経教室		
講師〔書家〕	受講者	開催日時
山田 修也氏	33名	毎月1回（年12回実施） 第2日曜日
仏教美術講座		
講師	受講者	開催日時
当館学芸員	23名	毎月1回（年12回実施） 第2日曜日

(3) 講演会の開催

吉備文化財修復所代表で仏像修復研究者の牧野隆夫氏を講師に招き、
仏像の修復についてお話いただいた。

開催日 11月27日（日）13時30分～15時

会場 下田セントラルホテル

演題 伊豆の仏像修復記 番外編

講師 牧野隆夫氏

（東北古典彫刻修復研究所代表・吉備文化財修復所代表）

聴講者 約250名

(4) 外部からの依頼による講演会開催（講師：当館学芸員）

講演名	開催日時	聴講者
伊東観光協会定期総会での講演	5月30日	約40名
伊東市八幡野・清富寺での講演	6月11日	約30名
下田市寿大学での講演	6月15日	63名
下田市蓮台寺区での講演	6月19日	約50名
河津町沢田区での講演	6月26日	約50名
みしまのお寺めぐりの会での講演	8月27日	130名
熱海市紙感謝祭での講演	9月6日	約50名
かなみ仏の里美術館での記念講演	10月23日	108名
臨済宗静岡県東部婦人部での講演	11月10日	約60名
河津町谷津・栖足寺での講演	1月14日	約100名
河津町仏教会での講演	1月18日	16名
伊豆半島ジオパーク写真展での講演	2月4日	116名
浄土宗静岡教区研修会での講演	2月10日	約40名
三島市大社町・西福寺での講演	2月11日	約30名

6. 美術品に関する資料の収集、保管及び公開（定款第5条第5号）

<上原近代美術館>

調査研究、公開を目的に美術関係図書や美術関係資料等を収集した。

- ・本年度の収集図書数 226冊

<上原仏教美術館>

仏教美術、伊豆半島の地誌を主体とした調査研究に関連する書物を収集した。

- ・本年度の収集図書数 24冊

7. 美術品に関する解説書等刊行物の作成頒布（定款第5条第6号）

	上原近代美術館	上原仏教美術館
年間展示予定	平成28年度年間展示予定表を掲載した美術館案内を作成	休館中のため本年度は作成なし
ポスター等	展示会毎にポスター・チラシの作成頒布	休館中のため本年度は作成なし
美術館だより	年4回発行 (1回約1,500部を無料頒布)	隔月で年6回発行 (1回約2,200部を無料頒布)
その他	展覧会ごとに出品リストを作成し、来館者に無料頒布	「南伊豆町寺院悉皆調査報告書南伊豆町の仏画・書画」を作成し、静岡県教育委員会、伊豆半島内の市町の教育委員会、図書館、関係寺院等に無料頒布

8. その他目的を達成するために必要な事業（定款第5条第7号）

地域の教育文化の向上を目的として、本年度も小中学生、高校生を対象とした無料入館対応（毎週土曜日）、静岡県内全児童対象の事業「キッズアートプロジェクトしずおか」での児童無料入館対応を行った。また、幼児、小中学生、高校生を対象とした出張授業や授業入館、高校生や大学生を対象としたインターンや博物館実習の受け入れも継続して実施している。

そのほか、当館事業の質を高めることを目的として、学芸員が様々な研修に参加し、最新情報の収集とスキルアップに努めている。

また、静岡県博物館協会事業推進グループのほか、文化財保護審議会委員、伊豆半島ジオパーク推進協議会学術部会委員を学芸員が担当し、地域文化向上への貢献に努めている。

<上原近代美術館>

(1) 学校教育との連携

- ・ 土曜日無料入館者 30名
- ・ パスポート入館者 29名
- ・ 出張授業 3校（5回） 生徒合計64名
- ・ 授業入館 2校（2回） 生徒合計60名
- ・ 職場体験学習、インターン 中学生1名、高校生2名
- ・ 博物館実習 大学生2名

(2) 学芸員研修

- ・「鑑賞学習を通じた学びを考える会」(主催：国立国際美術館)
日程：5月8日(日)
参加者：齊藤陽介学芸員
- ・「展示論講座2016」(主催：日本展示学会)
日程：9月6日(火)～9月9日(金)
参加者：齊藤陽介学芸員
- ・「ミュージアム・マネジメント研修」(主催：文化庁)
日程：12月14日(水)～12月16日(金)
参加者：土森智典主任学芸員
- ・「次世代の美術館・博物館照明の技術指針」(主催：東京文化財研究所)
日程：2月20日(月)
参加者：齊藤陽介学芸員
- ・その他、静岡県博物館協会が主催する全講習会に参加。

(3) その他

土森智典主任学芸員が静岡県博物館協会の事業推進グループに参加し、静岡県内の美術館・博物館等の連携構築のほか、講習会の開催や災害時の協力体制の検討などを行っている。

<上原仏教美術館>

(1) 学校教育との連携

淑徳中学校（東京都）他にて出張授業を行った。

- ・出張授業 11校(11回) 生徒合計 826名

(2) その他

田島整主任学芸員が下田市・伊東市・河津町・富士市の文化財保護審議会委員として各市町の文化財指定や文化財保護に関わっているほか、伊豆半島ジオパーク推進協議会学術部会委員として、伊豆半島ジオパークの世界認定に向けて文化面からのアドバイスを行っている。

以上